

都市再生整備計画 事後評価シート
松山市南部地区

平成25年 5月

愛媛県松山市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛媛県		市町村名	松山市		地区名	松山市南部地区			面積	255ha	
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	5,423百万円	国費率	0.4			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路事業(北久米和泉線、千舟町古川線、石井75号線、石井273号線、石井228号線)、高質空間形成施設(ポケットパーク)								
			提案事業	地域創造支援事業(複合福祉施設整備、交差点改良事業、下水道整備事業)、事業活用調査(沿道まちづくり検討調査)								
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業名	削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			提案事業									
	新たに追加した事業		基幹事業									
			提案事業	地域創造支援事業(公共施設耐震改修)	本地区中心にある市立石井保育園の耐震診断を行った結果、改修が必要であることが判明したため。				なし			
交付期間の変更	当初	平成19年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
	変更											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	地区内の事故減少	件/km2年	136	H15	108	H23	73	あり	あり	幹線道路整備や交差点改良の外、公安委員会が歩車分離信号の設置や指導取締りを行ったことによる。	
									なし	なし		
	指標2	地区内幹線道路の歩道整備率	%	47	H18	78.4	H23	75.2	あり	あり	幹線道路の歩道整備が完了したことによる。	平成26年4月
									なし	なし		
指標3	松山市南部児童センターの1日来場者数	人/日	0	H18	200	H23	357	あり	あり	施設整備の完成と運営時間の拡大等、柔軟な運営を行ったことによる。		
								なし	なし			
指標4	計画エリア内における幼児健診の受診割合	%	80	H17	90	H23	90	あり	あり	施設整備の完成による。		
								なし	なし			
指標5								あり	あり			
								なし	なし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	持続的なまちづくり体制の構築			・北久米和泉線道路整備に併せ、地元町内会が通り名を「きゅうべえ通り」と掲げ、道路の美化清掃活動を行う「マイロードサポーター」の登録を行った。 ・地域住民が、地域におけるまちづくりを総合的かつ主体的に担うことを目的にまちづくり協議会を設立した。 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					・持続的な活動となるよう後方支援を行う。 ・住民主体となり、いきいきと幸せに暮らし、感謝と誇りをもてるまちづくりを目指し、まちづくり計画を策定している。			

様式2-2 地区の概要

松山市南部地区(愛媛県松山市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
平成25年 5月		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:「そこに住んでみたい」と感じる、快適で豊かな都市空間の創出を目指した南部地区の整備 目標1:子供からお年寄りまで、居住者が安全で安心して暮らせる“ゆとりある住居系エリア”の実現を図る。 目標2:骨格となる幹線道路や地区内の生活道路等の一体的な整備により、交通事故を減少し、“歩行者や自転車に優しいみち・まちづくり”の実現を図る。 目標3:複合保健福祉施設の充実を図り、誰もが健康で安心して子育てが出来る環境づくりを目指す。		地区内の事故減少	単位:件/km2年	136	H15	108	H23	73	H24
		歩行者にやさしい道路整備の促進	単位:%	47.4	H18	78.4	H23	75.2	H24
		複合保健福祉施設の利用促進	単位:人/日	0	H18	200	H23	357	H24
		母子育児支援の推進	単位:%	80	H17	90	H23	90	H24
			単位:		H		H		H
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 道路・社会福祉施設等全て確実に進展し、地域の人々が安全・安心で暮らせるための都市基盤となっている。 児童の安全・安心な居場所として、また子育て親子等の交流の場、併せて、地域に密着した生涯を通じた健康づくりの場として、地域の人々に親しまれる施設となっている。 								
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 主なハード整備が完了し、一定の効果をもたらしている。 今後は、地域におけるまちづくりが自発的に行えるよう行政は、環境づくり等の側面支援を行っていく。 地域の人々が安全・安心で暮らせるため、利用者のニーズに併せた事業展開を図る。 地域の関係団体等と連携し、地域にあった健康増進を推進する。 								